

「バリューチェーンにおける環境リスク・機会の評価とイノベーション」



時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素よりご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、10月18日にPwCサステナビリティセミナーとして「バリューチェーンにおける環境リスク・機会の評価とイノベーション」を開催いたします。

近年、企業のバリューチェーンにおけるリスク・機会の特定や環境負荷低減への取り組みに対するステークホルダーの関心が高まっています。多くの企業が原材料の調達、生産、物流、販売といったバリューチェーンを世界中に展開しているなか、バリューチェーンにおける環境課題への対応が重大なインシデントを引き起こし、スムーズな調達を妨げたり、さらには、レピュテーションや売上にも影響したりする等、様々なリスクが想定され、対応が求められています。一方で、バリューチェーンにおける様々な課題は、企業にとってリスクとなるだけでなく、課題を正しく認識することで新しいビジネスの機会を見出し、長期的な価値創造のための戦略的な意思決定につながる可能性があります。

例えばアパレルとアクセサリーのコングロマリットであるフランスのKering(ケリング)は、グループやパートナーを含むサプライチェーン全体の営業活動全域において発生する環境負荷(温室効果ガス排出、水利用、水と空気の汚染、廃棄物、土地利用等)を貨幣価値で換算する環境損益計算書(E P&L)に2011年から着手しています。Keringでは、E P&Lの結果をもとに、自然資本への負荷を減らすための各種施策が講じられていますが、原材料調達の見直しや製造プロセスの改善のみでなく、サステナブルな新素材の開発等、新しいビジネスモデルを生み出す戦略的な意思決定に活用されています。

PwCあらた有限責任監査法人は、企業のサステナビリティが長期的な企業価値向上のためのビジネスアプローチであるとの認識のもと、サステナビリティ・バリューチェーン・マネジメントに関して、包括的なサービスを提供しています。こうした経験を踏まえ、本セミナーでは、KeringのSustainability Operations Directorをお招きし、サステナビリティ戦略、E P&Lに関する取り組み内容、課題と成功要因といった情報を含む先進事例をご紹介します。また、紙・プラスチックの代替となる石灰石由来の新素材LIMEX(ライメックス)を開発した日本のベンチャー企業である株式会社TBMをパネリストに迎え、サステナビリティを軸としたイノベーションについて議論します。

ご多忙中とは存じますが、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

開催概要

- 日時: 2018年10月18日(木) 13:30 - 15:00 (13:00開場)
- 場所: PwCあらた有限責任監査法人 セミナールーム
東京都千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング15階
- 対象: 企業の経営企画部門、事業管理部門、CSR部門担当者
- 定員: 90名
※同業種の方からのお申込みはお断りします。
※お申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 言語: 英語、日本語(同時通訳の準備がございます)
- 費用: 無料(事前登録制)
- プログラム: 裏面をご参照ください
- お申し込み: 以下ウェブサイトよりお申込み下さい。

<https://krs.bz/pwc/m/ssi1018>

- お問い合わせ: PwCあらた有限責任監査法人 セミナー事務局 担当:白川・小林
Tel:03-3841-4104 E-mail: pwc.seminar.mailbox@jp.pwc.com

■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、PwCあらた有限責任監査法人の個人情報保護方針に従って適切に管理いたします。詳細の取り扱いについては、PwCあらた有限責任監査法人のウェブサイトの個人情報保護方針(<https://www.pwc.com/jp/ja/sitemap/privacy/assurance.html>)をご覧ください。

プログラム

時間	講演内容	講演者
13:30-13:40	開会のご挨拶	• PwCあらた有限責任監査法人 パートナー 磯貝 友紀
13:40-14:00	先進企業による事例紹介	• Kering, Sustainability Operations Director, Michael Beutler氏
14:00-14:40	パネルディスカッション 「サステナブルなビジネスモデル開発とイノベーション」	<パネリスト> • Kering, Sustainability Operations Director, Michael Beutler氏 • 株式会社TBM サステナビリティ・アクセラレーター 羽鳥 徳郎氏 <モデレーター> • PwCあらた有限責任監査法人 パートナー 磯貝 友紀
14:40-15:00	Q&A	

※プログラム内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

講演者・パネリストの紹介



Michael Beutler氏

Kering Sustainability Operations Director

2011年よりKeringに参加。包括的なサステナビリティ戦略の策定とオペレーションに従事し、環境損益計算書(EP&L)の運用やScience Based Targetの策定等にも携わる。Kering参加前は、SAPのGlobal Director of Sustainability and Strategyを3年間務め、またDHL、PwC、Fordで20年にわたり財務関連業務の経験を有する。



羽鳥 徳郎氏

株式会社TBM サステナビリティ・アクセラレーター

2015年にPwC Japanに入社。サステナビリティコンサルタントとして、官民、業界、領域を問わず、多岐にわたるサステナビリティ取り組みを支援。特に、ESG投資とサステナブルサプライチェーンの領域において、複数のクライアントの体制整備を支援。2018年にTBMに参画し、サステナビリティ取り組みを推進している。



磯貝 友紀

PwCあらた有限責任監査法人 パートナー

世界銀行をはじめとした公的機関において民間セクター開発専門家として勤務した経験を有し、開発途上国ビジネスに関する幅広い知識を持つ。サステナビリティ部門の国際開発チームをリード。

会場へのアクセス

■セミナールームへのアクセス

- 東京メロ 東西線・千代田線・半蔵門線・丸ノ内線
- 都営地下鉄三田線 「大手町駅」(C6a 出口直結)
- JR 「東京駅」(丸ノ内北口)より徒歩12分

